

生産方式革新実施計画の概要

【株式会社モリファーム】

2026年4月23日認定
2026年6月11日変更

スマート農業技術の稼働面積を作期分散で拡大し、その作業効率・精度を合筆・均平化で向上させるとともに、栽培管理システム等のデータの共有・分析による栽培管理の最適化で収益性アップ

申請者：

株式会社モリファーム（三重県鈴鹿市）
代表取締役 森 和彦

対象品目：

水稻

スマート農業技術：

- ・ 自動操舵（トラクター、ブームスプレーヤー）
- ・ ドローン
- ・ 収量計測機能付きコンバイン
- ・ 可変施肥（田植機、ブロードキャスター）
- ・ 栽培管理システム
- ・ 生産支援システム
- ・ 生産支援システム連携色彩選別機

新たな生産方式：

- ・ 作期の異なる品種の導入を通じた作業期間の延長によるスマート農業機械の稼働面積の拡大と、合筆・均平化による作業効率・精度の向上
- ・ 普及指導員を通じた他の生産者とのデータ共有・分析による、栽培管理の最適化

株式会社モリファーム

労働生産性の向上

耕起、田植え、肥培管理、防除等の
精度と効率の向上

自動操舵

ドローン



作期の異なる品種の導入

基盤整備

作期分散による作業期間の延長

合筆・均平化

機械稼働面積の拡大 作業効率・精度の向上

品質・収量の向上

データに基づく肥培管理の実施

収量計測機能付き
コンバイン

可変施肥



栽培管理システム

生産支援システム

色彩選別機



+

データ共有・分析

栽培管理の最適化

品質・収量の向上効果の増大

農業改良
普及センター

普及指導員



(地域の他の生産者)

